尼崎市生涯スポーツ賞受賞者

川村　忠夫（かわむら　ただお）

兵庫県還暦軟式野球連盟に所属し、チーム 30 名前後の選手の中で 21 年間、常にレギュラーとして活躍しており、82 歳の現在は還暦連盟のリーグ戦を主戦場とし、喜寿野球チームで監督兼選手として活躍しています。

また、60 歳で入部して 70 歳まで公式戦 200 試合連続フルイニング出場の記録を達成し新聞にもその快挙を掲載されています。

佐々木　昌一（ささき　しょういち）

塚口剣友会を発足され、初代会長として相談役も含めますと 47 年もの長きにわたり剣道競技者の指導にご尽力されて、尼崎市剣道連盟の役員としても 28 年間以上関わってこられました。

82 歳となられた今も少年から一般の剣士とともに稽古を続けておられ、まさに生涯剣道、生涯スポーツを実践されています。

塚尾　友美（つかお　ゆみ）

20 年以上の長きにわたり、バドミントン、フリーテニス、そして日本舞踊等の踊りという、多種多様なスポーツを精力的に継続してこられ、83 歳の現在もなお、地域のスポーツコミュニティにおいて中心的な役割を果たされています。

昨年不慮の交通事故に遭われた後、リハビリテーションに励まれ、以前と変わらぬ姿で復帰されたことは、多くの人々に勇気を与えられました。

なかむら　　よしゆき
中村　嘉行

尼崎市いきいき 100 万歩運動事業に平成 16 年度（2004 年度）の事業開始当初から 21 年にわたり、89 歳を迎えられた現在も継続してウォーキングによる健康づくり及び介護予防に取り組まれています。

令和８年（2026 年）５月 23 日には累計 7,900 万歩を達成され、本事業において累計 7,900 万歩を達成した方は、中村様のみとなっています。

まえだ　　ひでまさ
前田　英政

30 年以上の長きにわたりボウリングを継続し、生涯スポーツの実践者として大いに活躍されており、兵庫県ボウリング連盟では、27 年間の長期にわたって組織の発展や競技普及に尽力されました。

連盟退会後の現在は、地域のボウリング場にて月 3 回以上、競技会へ積極的に参加を続け、現在もアベレージ 178 点を維持されておられます。

まつもと　　まきこ
松本　纒子

50 年以上、当協会に所属され、86 歳になられた現在も第一線で活躍されておられます。A 級（七松クラブ）に所属し、今もなお試合に出場し、コートに立ち、又はベンチで応援とチームの方々へのサポートも忘れていません。

そして、これまで大きな怪我もなく、長きにわたりプレイされ、バレーに対する姿勢・周りへの気配り等、人としてプレーヤーとして模範となる方です。

むらかみ　　さとよし
村上　達義

グラウンド・ゴルフ競技歴は 28 年を超え、91 歳を迎えられた現在でも現役プレーヤーとして活動されている一方、（公益社団法人）日本グラウンド・ゴルフ協会認定の普及指導員として地域のグラウンド・ゴルフの普及・指導にも携わられています。

週末を除く平日 5 日間練習に励まれ、尼崎市民スポーツ祭、マスターズ大会を始め尼崎グラウンド・ゴルフ協会が主催する大会にも参加されています。

もりわき　　はるこ
森脇　ハル子

50 歳から市のテニススクールに近所の友人と通い始め、ラケットに上手くボールを当てられず、スクール以外にオートテニス場に通い、密かに練習を重ねた結果、球を打ち返すことができるようになりました。

市のスクールだけでは物足りなくなり、折よく新しく出来たつかしんのテニススクールのシニアクラスに移り、40 年近くスクールに通い続け、現在は、93 歳、最年長の名物生徒となられております。

やまもと　　まさる
山本　勝

全く泳げない状態から平成 3 年に水泳を始められ、「何事も一度始めたら続けることが一番大切」を信条に、仕事と両立しながら 35 年間、82 歳の現在も健康維持と認知症予防の為に無理をせず楽しみながら週 2 回最低１㎞以上を泳いでおられます。

周りの人たちに「山本さんをお手本に自分も頑張ろう」と思わせてくれる存在です。